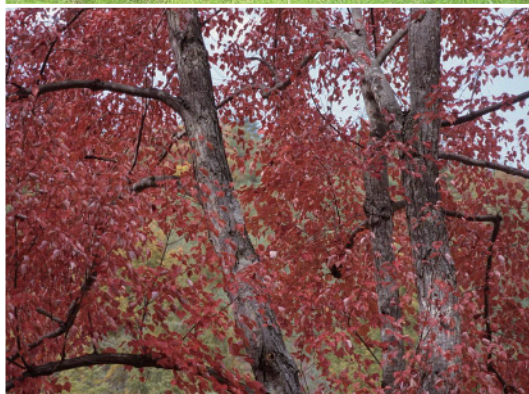


第2回 只見の自然を学ぼう会（講演会）

希少樹種の保全とは何か？

～ハナノキからユビソヤナギへ～



写真上より：樹氷におおわれたユビソヤナギ／ユビソヤナギの雄花／ハナノキの自生地（岐阜県瑞浪市釜戸町）／ハナノキの紅葉

絶滅危惧種ユビソヤナギ、日本一の自生地、伊南川流域。

只見の自然に学ぶ会は、伊南川流域、只見川流域のユビソヤナギを調べています。宝探し気分楽しく調べてみたのはいいものの、調査報告書をまとめるにあたって、これからどうしたらいいのか、正直、迷っています。

そこで、伊南川のユビソヤナギ発見者、鈴木和次郎さんをお迎えして、自生地の保護、河川環境保全について本質論を展開していただき、今後の方向性についてご指南いただきます。

まず、ハナノキ*を例に、希少樹種の保全はいかに難しいのか、解説。そして、ユビソヤナギの保全はどうあるべきか、お話しいただき、これからの伊南川、只見川はどうあればいいのか、考えます。

ご一緒に考えてみませんか？

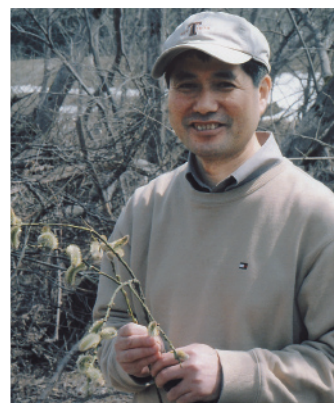
※カエデ科。別名、ハナカエデ。長野・愛知・岐阜県の山地川岸などに生育。環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。自生地などが国指定天然記念物。

日時 2009年2月1日(日) 14:00～15:30

会場 朝日地区センター 2階大ホール

講師 鈴木 和次郎氏

すずき・わじろう ● 独立行政法人・森林総合研究所研究員。森林施業研究会代表。溪畔林研究会。只見の自然に学ぶ会顧問。専門は森林生態学、造林学。持続可能な森林施業や水辺林保全のため、全国の山野を巡っている。伊南川の水辺林は誰よりも歩いて調べており、伊南川が絶滅危惧種ユビソヤナギの全国一の自生地であることを発見。



【主催】只見の自然に学ぶ会（事務局・渡部） FAX.0241-82-3242 【後援】朝日地区センター TEL.0241-84-2111

*福島県文化振興による地域活性化推進事業の展開モデル候補に選定されています。